



一次救命措置についての安全衛生教育訓練

令和元年6月3日

社員の応急手当の知識の習得のため、外部講師をお招きして安全衛生委員・安全推進委員を対象にAEDの使用方法や胸骨圧迫訓練の実演など、救命講習を実施しました。



～ 一次救命措置の映像を視聴 ～
外部の講師に一次救命措置について説明していただいた後に映像にてAEDの手順等を確認。



～ 胸骨圧迫訓練を実演 ～
いざやってみると力加減や圧迫位置などを一定に保つのが難しい。
正しい胸骨圧迫ができていないと音声ガイダンスによって注意され続けることに・・・

～まとめ～

AEDの正しい使用方法について再度確認することが出来て、皆さんで認識出来ました。
胸骨圧迫訓練は、訓練終了後に様々な項目を基に総合得点が出ました。70点台が多い中90点を越える人もいました。得点化されることでモチベーションを高く持つことができ、一次救命措置についての意識の向上になりました。

安全衛生教育訓練「たばこの煙のない職場環境を目指して」



令和元年8月1日

社員の健康意識の向上に際し、たばこメーカーの方をお招きして、安全衛生委員・安全推進委員を対象に喫煙の有害性や加熱式たばこの紹介などについて講演していただきました。



～SDGsについての説明～

今回の安全衛生教育はSDGsの17の目標の内、3の目標「すべての人に健康と福祉を」に当たることをTAKIGAMI SDGs Prj リーダーの岩田管理本部長より冒頭に説明がされた。



「煙の正体はこれだ！煙の中の有害物質」を視聴
主流煙、副流煙、呼出煙の有害物質について説明した動画を視聴。今回視聴した動画は、厚生労働省ホームページにアップされているもの。



～加熱式たばこの紹介、禁煙の勧め～

加熱式たばこは、室内空気環境に悪影響を与えない。また、燃焼しないことから紙巻きたばこに比べて有害性成分の発生を低減させ、病気のリスクを低減させることができるなどの加熱式たばこの特徴を説明した。もし喫煙するのであれば、紙巻きたばこよりも加熱式たばこを選択する方が良い選択であるとした。

しかし、たばこ関連の健康リスクを低減させる一番の方法は、紙巻きたばこも加熱式たばこも両方止めることであるとして講演を終了した。